

パターンⅢ【工場元帳・月次損益計算書の問題】

次の【資料】にもとづいて、A工業の当月の仕掛品勘定と月次損益計算書を作成しなさい。

【資料】

1. 棚卸資産有高 (単位：円)

	月初有高	月末有高
素 材	1,500,000	1,720,000
部 品	1,450,000	1,400,000
燃 料	280,000	250,000
仕 掛 品	3,650,000	3,720,000
製 品	1,200,000	1,000,000

2. 直接工の作業時間及び賃率

直接工の就業時間の内訳は、直接作業時間 2,500 時間、間接作業時間 200 時間であった。なお、賃金計算では、平均賃率である 1 時間当たり 1,250 円を適用している。

3. 当月の支払高等 (単位：円)

素 材 仕 入 高	6,200,000
部 品 仕 入 高	4,800,000
燃 料 仕 入 高	600,000
工場消耗品消費額	40,000
間接工賃金当月支払高	730,000
間接工賃金前月末払高	150,000
間接工賃金当月未払高	120,000
電力料金（測定額）	360,000
保 険 料（月割額）	400,000
減価償却費（月割額）	900,000
水道料金（測定額）	112,000

4. 製造間接費は直接作業時間を配賦基準として予定配賦し、配賦差異は売上原価に賦課している。なお、A工業の年間の製造間接費予算は 45,360,000 円、年間の予定総直接作業時間は 33,600 時間である。

		仕 掛 品		(単位：円)	
月 初 有 高	()	完 成 高	()		
直 接 材 料 費	()	月 末 有 高	()		
直 接 労 務 費	()				
製 造 間 接 費	()				

		月次損益計算書		(単位：円)	
I 売 上 高				23,660,000	
II 売 上 原 価					
月初製品有高	()				
当月製品製造原価	()				
合 計	()				
月末製品有高	()				
原 価 差 異	()			()	
売上総利益				()	

参考メモ【工場元帳（ボックス（一部））】

直接材料費

月初有高	当月消費
当月仕入	月末有高

賃金・給料（間接工賃金）

当月支払	前月末払
当月未払	当月消費

製造間接費

当月発生	予定配賦
配賦差異	配賦差異

※配賦差異は、どちらか一方に数字が入ります。

仕 掛 品

月初有高		当月完成	
当月投入			
		月末有高	

製 品

月初有高		当月販売	
当月完成		月末有高	

製造間接費配賦差異（原価差異）

不利差異		有利差異	

※配賦差異は、どちらか一方に数字が入ります。